

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN118
1	科目名 英語科目名	日本語 I Japanese I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年前期 斎藤安輝*
3	授業テーマ・内容	現代日本語を理解し、日常的に使用するために必要な知識を身につける。 他言語との比較をすることで、現代日本語の特質を理解する。 また、身近な日本文化や習慣を理解し、日本での生活に溶け込めるようになる。 日本語能力検定試験問題を解く。
4	学習成果	日常生活を不自由なく送れるための会話力の習得 授業を聞き取ってノートを取る記述力の習得。 正しい発音でプレゼンテーションができる。 日本語で手紙や書類が書けるようになる。 日本語能力検定試験のグレードアップをする。
5	履修条件	日本語を第1言語としない者

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週		本講義の目的と要点を説明。	予)シラバスを読んでおく(2時間) 復)ノートの整理(2時間)
第2週	自己紹介と質疑応答①	来日した時期、母国について	予)自分が何を話すか考えておく(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第3週	自己紹介と質疑応答②	今後卒業してからの展望、希望について。	予)自分が何を話すか考えておく(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第4週	日本での生活①	日本に来て困ったこと、分からないこと①	予)自分の困ったことについて考えておく(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第5週	日本での生活②	日本に来て困ったこと、分からないこと②	予)自分の困ったことについて考えておく(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第6週	日本語の特徴①	他の言語と比較して日本語の特徴①	予)自国語と日本語の共通点や違いを考える(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第7週	日本語の特徴②	他の言語と比較して日本語の特徴②	予)自国語と日本語の共通点や違いを考える(2時間) 復)他の人の話をノートにまとめる(2時間)
第8週	日常の会話表現①	日常生活で使う微妙な言い回し①	予)日常生活で分からなかった表現をメモしておく(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第9週	日常の会話表現②	日常生活で使う微妙な言い回し②	予)日常生活で分からなかった表現をメモしておく(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第10週	日本の年中行事と習慣①	日本の伝統的な年中行事や習慣①	予)自国との違いについて考える(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第11週	日本の年中行事と習慣②	日本の伝統的な年中行事や習慣②	予)自国との違いについて考える(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第12週	プレゼンテーション①	日本の行事や習慣について説明する①	予)テーマを考えて原稿を書いておく(2時間) 復)原稿の書き直し(2時間)
第13週	プレゼンテーション②	日本の行事や習慣について説明する②	予)テーマを考えて原稿を書いておく(2時間) 復)原稿の書き直し(2時間)
第14週	手紙の書き方①	手紙の書式と用語	予)日本語で書いた手紙を調べる(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第15週	手紙の書き方②	所定の書式に従って手紙を書く	予)手紙の書式の確認(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)

シラバス基本情報

6	備考	本講義は、内容的にⅠ・Ⅱで一体のもので、前期後期通年で履修することが望ましい。
7	テキスト・参考書	テキスト:必要なプリントは授業時に配布する。
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	随時課題を提出させ、添削の上返却、指導する。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	1-1 課題発見・解決力、論理的思考
期末試験 筆記試験 レポート試験		1-2 コミュニケーション・スキル
授業時間内 試験・演習	80	2-4 生涯学修力
授業時間外 レポート 平常点	20	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
日常生活を不自由なく送れるための知識と会話力の習得	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を積極的に吸収し、疑問があれば自ら解決法を探ることができる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を充分持ち、疑問があれば質問して解決できる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識をある程度持ち、疑問があれば助言を受けて解決できる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を積最低限持ち、疑問があれば詳しい助言を受けて解決できる。	到達目標を達成できていない。
授業を聞き取ってノートを取る記述力の習得	専門も含めた授業で日本語を聞き取ることができ、また日本語だけで内容をまとめたノート取ることができる。	ほとんどの授業で日本語を聞き取ることができ、またおおよそ日本語で内容をまとめたノート取ることができる。	大体の授業で日本語を聞き取ることができ、また簡単な日本語で内容をまとめたノート取ることができる。	授業で日本語を一部聞き取ることができ、また日本語でメモ程度にノート取ることができる。	到達目標を達成できていない。
正しい発音でプレゼンテーションができる力の習得	日本語を正しい発音とイントネーション、十分な速さで話すことができ、話す順序を論理的に組み立てられる。	日本語をほとんど正しい発音とイントネーション、速さで話すことができ、話す順序を論理的に組み立てられる。	日本語を大体正しい発音とイントネーション、ある程度の速さで話すことができ、話す順序を考えて組み立てられる。	日本語をある程度正しい発音とイントネーション、最低限の速さで話すことができ、助言を受ければ話す順序をある程度論理的に組み立てられる。	到達目標を達成できていない。
日本語で手紙や書類が書けるようになる。	手紙や書類を、漢字仮名交じりで美しく、書式に従って慣用的な表現を交えて書くことができる。	手紙や書類を、漢字仮名交じりで正確に、書式に従って慣用的な表現を部分的に交えて書くことができる。	手紙や書類を、大体漢字仮名交じりで、書式に従って、助言を受ければ、慣用的な表現を交えて書くことができる。	手紙や書類を、助言を受ければ漢字仮名交じりで、書式に従って最低限の慣用的な表現を交えて書くことができる。	到達目標を達成できていない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN206
1	科目名 英語科目名	日本語Ⅱ Japanese II
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年後期 斎藤安輝*
3	授業テーマ・内容	現代日本語を理解し、日常的に使用するために必要な知識を身につける。 他言語との比較をすることで、現代日本語の特質を理解する。 また、身近な日本文化や習慣を理解し、日本での生活に溶け込めるようにする。
4	学習成果	日常生活を不自由なく送れるための会話力の習得 授業を聞き取ってノートを取る記述力の習得。 就職活動に必要な敬語が使える。 正しい発音でプレゼンテーションができる。 日本語で手紙や書類が書けるようになる。
5	履修条件	日本語を第1言語としない者

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週		本講義の目的と要点を説明。	予)シラバスを読んでおく(2時間) 復)ノートの整理(2時間)
第2週	敬語①	日本語の敬語表現の種類と用途	予)自国語の尊敬表現を考える(2時間) 復)日本語の敬語表現の意味を確認する(2時間)
第3週	敬語②尊敬語	尊敬語のレベルと表現	予)自国語の尊敬表現を考える(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第4週	敬語③謙譲語	謙譲語のレベルと表現	予)自国語の謙譲表現を考える(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第5週	敬語③丁寧語・美化語	丁寧語・美化語の意味と表現	予)(自国語の丁寧語を考える(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第6週	敬語④会話	口頭表現としての敬語	予)敬語を使う場面を想定する(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第7週	日本語能力検定試験①	動詞	予)試験問題の例題を解く(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第8週	日本語能力検定試験②	副詞	予)試験問題の例題を解く(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第9週	日本語能力検定試験③	接続詞	予)試験問題の例題を解く(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第10週	日本語能力検定試験④	名刺・代名詞	予)試験問題の例題を解く(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第11週	日本の年中行事と習慣	日本の伝統的な年中行事や習慣	予)任意に日本語の年中行事について調べる(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第12週	プレゼンテーション①	日本の行事や習慣について説明する①	予)テーマを考えて原稿を書いておく(2時間) 復)原稿の書き直し(2時間)
第13週	プレゼンテーション②	日本の行事や習慣について説明する②	予)テーマを考えて原稿を書いておく(2時間) 復)原稿の書き直し(2時間)
第14週	ビジネス文書の作成①	ビジネス文書の種類と書式、用語	予)ビジネス文書の書式の確認(2時間) 復)ノートの整理と見直し(2時間)
第15週	ビジネス文書の作成②	所定の書式に従ってビジネス文書を書く	予)ビジネス文書の書式の確認(2時間) 復)ビジネス文書を書く(2時間)

シラバス基本情報

6	備考	本講義は、内容的にⅠ・Ⅱで一体のものなので、前期後期通年で履修することが望ましい。
7	テキスト・参考書	テキスト:必要なプリントは授業時に配布する。
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	随時課題を提出させ、添削の上返却、指導する。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験		1-1 課題発見・解決力、論理的思考 1-2 コミュニケーション・スキル 2-4 生涯学修力
筆記試験 レポート試験		
授業時間内 試験・演習	80	
授業時間外 レポート 平常点	20	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
日常生活を不自由なく送れるための知識と会話力の習得	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を積極的に吸収し、疑問があれば自ら解決法を探ることができる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を充分持ち、疑問があれば質問して解決できる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識をある程度持ち、疑問があれば助言を受けて解決できる。	日本で生活をするうえで必要な日常的な知識を積最低限持ち、疑問があれば詳しい助言を受けて解決できる。	到達目標を達成できていない。
授業を聞き取ってノートを取る記述力の習得	専門も含めた授業で日本語を聞き取ることができ、また日本語だけで内容をまとめたノート取ることができる。	ほとんどの授業で日本語を聞き取ることができ、またおおよそ日本語で内容をまとめたノート取ることができる。	大体の授業で日本語を聞き取ることができ、また簡単な日本語で内容をまとめたノート取ることができる。	授業で日本語を一部聞き取ることができ、また日本語でメモ程度にノート取ることができる。	到達目標を達成できていない。
正しい発音でプレゼンテーションができる力の習得	日本語を正しい発音とイントネーション、十分な速さで話すことができ、話す順序を論理的に組み立てられる。	日本語をほとんど正しい発音とイントネーション、速さで話すことができ、話す順序を論理的に組み立てられる。	日本語を大体正しい発音とイントネーション、ある程度の速さで話すことができ、話す順序を考えて組み立てられる。	日本語をある程度正しい発音とイントネーション、最低限の速さで話すことができ、助言を受けなければ話す順序をある程度論理的に組み立てられる。	到達目標を達成できていない。
日本語で手紙や書類が書けるようになる。	手紙や書類を、漢字仮名交じりで美しく、書式に従って慣用的な表現を交えて書くことができる。	手紙や書類を、漢字仮名交じりで正確に、書式に従って慣用的な表現を部分的に交えて書くことができる。	手紙や書類を、大体漢字仮名交じりで、書式に従って、助言を受ければ、慣用的な表現を交えて書くことができる。	手紙や書類を、助言を受ければ漢字仮名交じりで、書式に従って最低限の慣用的な表現を交えて書くことができる。	到達目標を達成できていない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN102
1	科目名 英語科目名	日本語表現法 Japanese Composition and Style
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年前期 中川明日佳*
3	授業テーマ・内容	教科としての「国語」ではなく世界の言語のひとつとしての「日本語」の視点を養うために、他言語と比較しての日本語の特徴を、構造・語順・文法や語彙などの面から考える。 その上で主語と述語、修飾語や接続、文体など、正確な文を構成する上で不可欠な基礎文法を学ぶ。 また、社会生活に必要な現代敬語を、口語表現中心に修得し、文章表現に応用する。
4	学習成果	1.グローバルな視野に立って他言語と比較することで、言語学的視野に立って普段使っている日本語を認識できる。 2.日常の言語生活において論理的に観察・分析し、学んだことを応用できる。 3.言語について考察したことを口頭、又は文章で説明できる。 4.基礎的な敬語法を理解し、正しく話したり書いたりできる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	図書館ガイダンス	資料収集と図書館利用	復) 図書館で本を借りてみる (2時間)
第2週	言語とは	人間にとって言語とは?	予) シラバスを読んでおく (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第3週	言語の三分類	世界の言語の特徴と分類	予) 日本語と英語、中国語の違いとは? (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第4週	日本語の特色 (1) 構造	日本語の構造と句読点の役割	予) 日本語の構造について考える (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第5週	日本語の特色 (2) 文末表現と文体	文末決定性とそのルール	予) 日本語の語順について考える (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第6週	日本語の特色 (3) 修飾語	修飾語の係りかた	予) 日本語の修飾語の係り方の特徴は? (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第7週	日本語の特色 (4) 日本語の表記	漢字と仮名	予) 日本語にはどんな文字があるか? (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第8週	同音・同訓の言葉	同音異義語・同訓異義語の成り立ち	予) 同音/同訓異義語はなぜ多いのか? (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第9週	音訓と熟語	漢字の音訓の成り立ち	予) 音読みと訓読みの違いとは? (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第10週	熟語の構造	元々中国語である熟語を理解する	予) 反対語・対義語の関係にある熟語の例を考える (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第11週	仮名遣いと送り仮名	仮名遣いと送り仮名のルール	予) 五十音図で同じ発音の文字はどれか? (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第12週	敬語 (1)	敬語の3種と変換式敬語	予) どのような場合に敬語を使うか? (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第13週	敬語 (2)	尊敬・謙譲・丁寧語の様々な言い方	予) 尊敬・謙譲・丁寧語の具体的な表現を考える (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第14週	敬語 (3)	ありがちな敬語の間違い	予) 自分がよく間違える敬語表現は? (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第15週	まとめ	前期の授業内容のまとめと質疑応答	予) 疑問点の抽出 (2時間) 復) ノートの整理と確認 (2時間)
第16週	期末試験		予) 試験範囲の復習 (3時間) 復) 試験答案の検討 (1時間)

シラバス基本情報

6	備考	無し
7	テキスト・参考書	テキスト:キャリアアップ国語表現法 丸山顕徳編 嵯峨野書院
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	提出された課題は、添削・採点の上、返却・指導する。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験	70	1-1 課題発見・解決力、論理的思考 1-2 コミュニケーション・スキル 2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習 授業時間外 レポート 平常点	30	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
日本語についての知識	自分から広く知識を集めることができ、分かりやすく他者に説明できる。	広い関心・知識を持つ。そのうえ知識を他者に説明できる。	基本的な知識を持ち、それを他者に説明できる。	大体の基本的な知識を持ち、それを他者にある程度説明できる。	到達目標を達成できていない。
文字や語彙の考察と応用	独自の考察を説明できる。そのうえで正確かつ論理的な文章にまとめることができる。	考察したことを説明することができる。そのうえで正確な文章にまとめられる。	考察したことを説明できる。そのうえで文章にまとめられる。	考察したことを大体説明できる。それを大体文章化できる。	到達目標を達成できていない。
敬語法の習得及び実践	習得した語法を自分なりに応用して、様々な場面で言葉を使い分けることができる。また文章化できる。	習得した語法を応用して正確に話すことができる。また正確に文章化できる。	習得した語法を使って話すことができる。単純な文章は書ける。	習得した語法を大体使って話せる。最低限の文章は書ける。	到達目標を達成できていない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN202
1	科目名 英語科目名	日本語表現法演習 Exercises of Japanese Letters and Documents
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年後期 中川明日佳*
3	授業テーマ・内容	文章表現のための基礎的な知識とテクニックを身につける。また、前期の「日本語表現法」で学んだことを基にして、実際に文章を作成する。レポートや縦書きの手紙文、横書きのビジネスレターなど、毎回様々な文章作成や演習問題を課すので、各自積極的な受講態度が要求される。
4	学習成果	1. レポートを作成するための基本的な知識を習得し、正確に記述できる。 2. 手紙文の構造や慣用的な表現、定型文、便箋・封筒の使い方などを習得し、そのうえで実際に正しく手紙が書ける。 3. ビジネス文書を正式な形式に従って、慣用表現や定型文また、敬語法を用いて正しく作成できる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	文章を書くために	様々な目的の文があることを理解する	予) レポート文・手紙文・ビジネス文書の違いを考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第2週	アカデミックライティング(1) レポートの書き方	レポートを書くための準備	予) どのような準備が必要か考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第3週	アカデミックライティング(2) 文のしくみ	レポートに適した文体を知る	予) レポートに適した文とは何か?(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第4週	アカデミックライティング(3) 文章構成	レポートの構成とは	予) 段落分けの効果について考える 復) ノートの整理と確認(2時間)
第5週	アカデミックライティング(4) 演習	実際にレポートを書く	予) 自分の書いた文章を読み直す(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第6週	手紙文(1)	手紙を書く上での諸注意、手紙文の構成	予) 「拝啓」「敬具」の意味は?(2時間) 復) 頭語結語の対応関係を覚える(2時間)
第7週	手紙文(2)	手紙文の前文・末文の種類と文例	予) 身の回りの手紙文を読んでみる(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第8週	手紙文(3)	実際に手紙を書く	復) ノートの整理と確認(2時間)
第9週	手紙文(4)	葉書文の書き方	予) 手紙と葉書の違いについて考える(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第10週	小テスト(1)	手紙文の作成テスト	予) 試験範囲の復習(3時間) 復) 試験答案の検討(1時間)
第11週	ビジネス文書(1)	横書きの案内状の作成	予) 身の回りの案内状を読んでおく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第12週	ビジネス文書(2)	社外文書の作成	予) ビジネス文書の種類を調べておく(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第13週	ビジネス文書(3)	社内文書の作成	予) 社外文書とどう違うか(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第14週	まとめ	ビジネス文書のまとめと質疑応答	予) ノートの整理と疑問点の抽出(2時間) 復) ノートの整理と確認(2時間)
第15週	小テスト(2)	ビジネス文書の作成テスト	予) 試験範囲の復習(3時間) 復) 試験答案の検討(1時間)

シラバス基本情報

6	備考	日本語表現法を履修していることが望ましい。
7	テキスト・参考書	テキスト:キャリアアップ国語表現法 丸山顕徳編 嵯峨野書院
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	提出された課題は、添削・採点の上、返却・指導する。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	1-1 課題発見・解決力、論理的思考
期末試験 筆記試験 レポート試験		1-2 コミュニケーション・スキル
授業時間内 試験・演習	80	2-4 生涯学修力
授業時間外 レポート 平常点	20	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
考察の説明および文章化	独自の考察を説明できる。そのうえで正確かつ論理的な文章にまとめることができる。	考察したことを説明することができる。そのうえで正確な文章にまとめられる。	考察したことを説明できる。そのうえで文章にまとめられる。	考察したことを大体説明できる。それを大体文章化できる。	到達目標を達成できていない。
手紙文の作成	手紙文の書式に従って慣用的表現、定型文を応用して、自由に文章が作成できる。また他者にわかりやすく説明できる。	手紙文の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、正しい文章が作成できる。また他者に正確に説明できる。	手紙文の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、文章が作成できる。また他者に説明できる。	手紙文の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、大体文章が作成できる。また他者に大体説明できる。	到達目標を達成できていない。
ビジネス文書の作成	ビジネス文書の書式に従って慣用的表現、定型文を応用して、自由に文章が作成できる。また他者にわかりやすく説明できる。	ビジネス文書の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、正しい文章が作成できる。また他者に正確に説明できる。	ビジネス文書の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、文章が作成できる。また他者に説明できる。	ビジネス文書の書式に従って慣用的表現、定型文を用いて、大体文章が作成できる。また他者に大体説明できる。	到達目標を達成できていない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN 103
1	科目名 英語科目名	英語表現法 English Usage
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 1年前期 田村正一*
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用的、基本的な英語を学習し、世界の職場で通用する人材の育成を目指す。 ・ 基本単語や英文法の基本的事項を理解し、英語活用能力を伸ばす。 ・ ニュース英語、英字新聞、英語の略語、ことわざなど、身近に使われている英語に慣れることによって、英語に対する苦手意識を克服する。 ・ 各授業に演習(小テスト等)を取り入れ、英文、熟語・構文、単語の定着を図る。
4	学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の意思を英語で表現するために必要な文法事項の基礎を理解し、構文・熟語を使用することができる。 2. 意味の似た動詞(look と see)について、意味の違いを理解し、日本語に訳すことができる。 3. 基本動詞を用いて、自分の考えを英語で表現することができる。 4. TOEIC L&R に出てくる単語や熟語を覚え、確認することができる。 5. 社会で起こっている事象やニュースに関心を持ち、英語で読むことができる。
5	履修条件	無し。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第 1 週	テスト及び オリエンテーション	確認テスト、授業内容・ねらい等の説明	予)最近のニュースの英語を調べておく(1 時間) 復)復習プリントを行う(1 時間)
第 2 週	Lesson 1	①基本動詞(take)のコア	予)take の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 3 週	Lesson 2	②基本動詞(give)のコア	予)give の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 4 週	Lesson 3	③基本動詞(get)のコア	予)get の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 5 週	Lesson 4	④基本動詞(have)のコア	予)have の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 6 週	Lesson 5	⑤基本動詞(make)のコア	予)make の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 7 週	Lesson 6	⑥基本動詞(be)のコア	予)be の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 8 週	Lesson 7	⑦基本動詞(come, go)のコア	予)come, go の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 9 週	Lesson 8	①似たもの動詞(look, see)のコア	予)look, see の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 10 週	Lesson 9	②似たもの動詞(say, tell)のコア	予)say, tell の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 11 週	Lesson 10	③似たもの動詞(speak, talk)のコア	予)speak, talk の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 12 週	Lesson 11	④似たもの動詞(listen, hear)のコア	予)listen, hear の使い方(テキスト等活用)(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 13 週	Lesson 12	⑤似たもの動詞(push, press, pull, draw) の コア	予)push, press, pull, draw の使い方(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 14 週	Lesson 13	⑥似たもの動詞 (fall, drop, clear, clean)の コア	予)fall, drop, clear, clean の使い方(2 時間) 復)復習プリントで授業内容の定着(2 時間)
第 15 週	復習	Lesson 1～13 の復習、期末試験対策	予)これまでの授業内容の復習(2 時間) 復)期末試験対策の確認(4 時間)
第 16 週	期末試験	Lesson 1～13 の内容、各小テストより	

シラバス基本情報

6	備考	教材は事前に Course Power に掲載しておくので、予習しておくこと。 授業の構成上、後期「英語表現法演習」と合わせて履修登録するのが望ましい。 担当教員は、私立学校・県立学校の教員として 30 年以上英語教育に携わった経験を活かし、教材及び教授方法に工夫を凝らしてきた。
7	テキスト・参考書	テキスト:【TOEIC L&R 出る単特急 銀のフレーズ】 TEX 加藤 朝日新聞出版 参考書:各自の英和辞典等を活用する。 プリントを配布する。
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	毎時行う小テスト等における誤りの多い問題及び英作文を中心とした復習プリントを中心に行う。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	1-1 課題発見・解決力、論理的思考
期末試験	40	1-2 コミュニケーション・スキル
筆記試験 レポート試験		2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	40	
授業時間外 レポート	10	
平常点	10	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	熟知している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 文法事項の基礎を理解し、構文・熟語を使用することができる。	重要事項を理解し、全ての問題に正解できる。	重要事項を理解し、9割以上の問題に正解できる。	重要事項を理解し、7割以上の問題に正解できる。	重要事項を理解し、5割以上の問題に正解できる。	重要事項が理解できず、半分の問題に正解できない。
2. 意味の似た動詞について、意味の違いを理解し、日本語に訳すことができる。	重要事項を理解し、誤字脱字もなく日本語らしく訳すことができる。	重要事項を理解し、正しく日本語に訳すことができる。	主語と重要事項を日本語らしく訳すことができる。	重要事項の部分は日本語に訳すことができる。	断片的な日本語訳も書くことができない。
3. 基本動詞を用いて、自分の考えを英語で表現することができる。	文法上の誤りもなく、様々な英語で表現することができる。	主語・動詞・目的語・補語を意識し、修飾語や副詞句などを用いて英語で表現することができる。	主語・動詞及び目的語や補語を意識して英文を書くことができる。	主語と動詞だけでも英語で書くことができる。	断片的英文も書くことができない。
4. TOEIC L&R に出てくる単語や熟語を覚え、確認することができる。	全ての単語や熟語を英語も日本語も書くことができる。	範囲内の全ての単語の意味を書くことができる。	範囲内の7割以上の単語の意味を書くことができる。	範囲内の5割以上の単語の意味を書くことができる。	範囲内の半分の単語の意味を1つも書くことができない。
5. 社会で起きている事象やニュースに関心を持ち、英語で読むことができる。	Course Power に掲載されている時事ニュースの内容や構文を考えながら英語に目を通し、銀のフレーズで単語の意味も確認している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語に目を通し、内容を理解し、日本語のニュースで確認している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語にも日本語にもざっと目を通している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語の一部と日本語に目を通している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語にも日本語にも目を通していない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN 203
1	科目名 英語科目名	英語表現法演習 Exercises in English Usage
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年後期 田村正一*
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用的、基本的な英語を学習し、世界の職場で通用する人材の育成を目指す。 ・ 基本単語や英文法の基本的事項を理解し、英語活用能力を伸ばす。 ・ ニュース英語、英字新聞、英語の比喩表現やビジネス連語など、身近に使われている英語に慣れることによって、英語に対する苦手意識を克服する。 ・ 各授業に演習(小テスト等)を取り入れ、英文、熟語・構文、単語の定着を図る。
4	学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の意思を英語で表現するために必要な文法事項の基礎知識を理解し、構文・熟語を使用することができる。 2. 意味の似た動詞(carryとbringなど)について、意味の違いを理解し、日本語に訳すことができる。 3. 基本動詞や前置詞、形容詞を用いて、自分の考えを英語で表現することができる。 4. TOEIC L&R に出てくる単語や熟語を覚え、確認することができる。 5. 社会で起こっている事象やニュースに関心を持ち、英語で読むことができる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	オリエンテーション Lesson 1	授業内容・ねらい等の説明 ⑦似たもの動詞(carry, bring)のコア	予) carryとbringの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第2週	Lesson 2	⑧似たもの動詞(turn, change)のコア	予) turn, changeの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第3週	Lesson 3	⑨似たもの動詞(work, operate)のコア	予) work, operateの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第4週	Lesson 4	⑩似たもの動詞(close, shut)のコア	予) close, shutの使い方(テキスト等使用)(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第5週	Lesson 5	①時を表す前置詞(in, on, at)のコア	予) in, on, atの使い方(テキスト等使用)(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第6週	Lesson 6	②時を表す前置詞(after, before, until, by)のコア	予) after, before, until, byの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第7週	Lesson 7	③時を表す前置詞(since, from, for, during)のコア	予) since, from, for, duringの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第8週	Lesson 8	④場所を表す前置詞(on, above, over, by, near)のコア	予) on, above, over, by, nearの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第9週	Lesson 9	⑤場所を表す前置詞(to, for, between, among)のコア	予) to, for, between, amongの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第10週	Lesson 10	⑥その他の前置詞(for, by, behind)のコア	予) for, by, behindの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第11週	Lesson 11	⑦その他の前置詞(with, over, about)のコア	予) with, over, aboutの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第12週	Lesson 12	①形容詞(good, right, bad, wrong)のコア	予) good, right, bad, wrongの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第13週	Lesson 13	②形容詞(high, tall, low, short)のコア	予) high, tall, low, shortの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第14週	Lesson 14	③形容詞(big, large, little, small)のコア	予) big, large, little, smallの使い方(2時間) 復) 復習プリントで授業内容の定着(2時間)
第15週	復習	Lesson 1～14の復習、期末試験対策	予) これまでの授業内容の復習(2時間) 復) 期末試験対策の確認(2時間)
第16週	期末試験	Lesson 1～14の内容、各小テストより	

シラバス基本情報

6 備考	教材は事前に Course Power に掲載しておくので、予習しておくこと。 授業の構成上、前期「英語表現法」と合わせて履修登録するのが望ましい。 担当教員は、私立学校・県立学校の教員として 30 年以上英語教育に携わった経験を活かし、教材及び教授方法に工夫を凝らしてきた。
7 テキスト・参考書	テキスト:【TOEIC L&R 出る単特急 銀のフレーズ】 TEX 加藤 朝日新聞出版 参考書:各自の英和辞典等を活用する。 プリントを配布する。
8 課題・試験・レポート等のフィードバック	毎時行う小テスト等における誤りの多い問題及び英作文を中心とした復習プリントを中心に行う。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	1-1 課題発見・解決力、論理的思考
期末試験 筆記試験 レポート試験	40	1-2 コミュニケーション・スキル 2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	40	
授業時間外 レポート	10	
平常点	10	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	難解している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. 文法事項の基礎知識を理解し、構文・熟語を使用することができる。	重要事項を理解し、全ての問題に正解できる。	重要事項を理解し、9割以上の問題に正解できる。	重要事項を理解し、7割以上の問題に正解できる。	重要事項を理解し、5割以上の問題に正解できる。	重要事項を理解できず、半分の問題に正解できない。
2. よく似た動詞、前置詞、形容詞について意味の違いを理解し、日本語に訳すことができる。	重要事項を理解し、誤字脱字もなく日本語らしく訳すことができる。	重要事項を理解し、正しく日本語に訳すことができる。	主語と重要事項を日本語らしく訳すことができる。	重要事項の部分は日本語に訳すことができる。	断片的な日本語訳も書くことができない。
3. 動詞や前置詞、形容詞を用いて、自分の考えを英語で表現することができる。	文法上の誤りもなく、様々な英語で表現することができる。	主語・動詞・目的語・補語を意識し、修飾語や副詞句などを用いて英語で表現することができる。	主語・動詞及び目的語や補語を意識して英文を書くことができる。	主語と動詞だけでも英語で書くことができる。	断片的に英単語も書くことができない。
TOEIC L&R に出てくる単語や熟語を覚え、確認することができる。	全ての単語や熟語を英語も日本語も書くことができる。	範囲内の全ての単語の意味を書くことができる。	範囲内の7割以上の単語の意味を書くことができる。	範囲内の5割以上の単語の意味を書くことができる。	範囲内の半分の単語の意味を書くことができない。
5. 社会で起きている事象やニュースに関心をもち、英語で読むことができる。	Course Power に掲載されている時事ニュースの内容や構文を考えながら英語に目を通し、銀のフレーズで単語の意味も確認している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語に目を通し、内容を理解し、日本語のニュースで確認している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語にも日本語にもざっと目を通している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語の一部と日本語に目を通している。	Course Power に掲載されている時事ニュースの英語にも日本語にも目を通していない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN 204
1	科目名 英語科目名	英語特別演習 Advanced English
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年後期 田村正一*
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC L&R 対策及び4年制大学編入学試験対策を主たる目的とする。 TOEIC L&R の演習を取り入れ、Listening 力と Reading 力の強化を図る。 4年制大学の編入学試験の過去問に挑戦する。 科学系の小論文でよく使われる英語構文や語彙を学習し、科学技術の英語に対する理解を深める。
4	学習成果	<ol style="list-style-type: none"> TOEIC L&R の Listening において、短い英文を聞き取り、適切な返答をすることができる。 長めの会話文やアナウンス文の大きな内容を聞き取り、適切な返答をすることができる。 TOEIC L&R の Reading において、文法・語彙を理解し、適切な語句を選ぶことができる。 長めの文書の中の具体的な情報を推測し、質問に答えることができる。 科学系の小論文でよく使われる英語構文や語彙を理解し、内容を把握することができる。 4年制大学の編入学試験の過去問に解答することができる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	オリエンテーション Lesson 1	授業内容・ねらい等の説明 TOEIC L&R 練習問題、編入試験過去問	予) TOEIC 問題集 Part 1 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第2週	Lesson 2	TOEIC L&R 練習問題 過去問1	予) TOEIC 問題集 Part 2 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第3週	Lesson 3	TOEIC L&R 練習問題 過去問1、科学技術の英語1	予) TOEIC 問題集 Part 2 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第4週	Lesson 4	TOEIC L&R 練習問題 長文1	予) TOEIC 問題集 Part 3 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第5週	Lesson 5	TOEIC L&R 練習問題 長文1、科学技術の英語2	予) TOEIC 問題集 Part 4 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第6週	Lesson 6	TOEIC L&R 練習問題 過去問2	予) TOEIC 問題集 Part 4 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第7週	Lesson 7	TOEIC L&R 練習問題 過去問2、科学技術の英語3	予) TOEIC 問題集 Part 5 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第8週	Lesson 8	TOEIC L&R 練習問題 長文2	予) TOEIC 問題集 Part 5 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第9週	Lesson 9	TOEIC L&R 練習問題 長文2、科学技術の英語4	予) TOEIC 問題集 Part 6 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第10週	Lesson 10	TOEIC L&R Listening 対策模試	予) TOEIC 問題集 Part 1~4 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第11週	Lesson 11	TOEIC L&R Listening 対策模試	予) TOEIC 問題集 Part 1~4 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第12週	Lesson 12	TOEIC L&R 練習問題 過去問3	予) TOEIC 問題集 Part 7 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第13週	Lesson 13	TOEIC L&R 練習問題 過去問3、科学技術の英語5	予) TOEIC 問題集 Part 7 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第14週	Lesson 14	TOEIC L&R 練習問題 長文3	予) TOEIC 問題集 Part 7 の練習(2時間) 復) 語彙・構文等の定着(2時間)
第15週	復習	Lesson 1~14 の復習、期末試験対策	予) これまでの内容の復習(2時間) 復) 期末試験対策の確認(2時間)
第16週	期末試験	Lesson 1~14 の内容を限定して出題	

シラバス基本情報

6	備考	担当教員は、私立学校・県立学校の教員として 30 年以上英語教育に携わった経験を活かし、教材及び教授方法に工夫を凝らしてきた。
7	テキスト・参考書	テキスト:【TOEIC L&R 出る単特急 銀のフレーズ】 TEX 加藤 朝日新聞出版 【TOEIC L&R 公式問題集】 ETS 国際ビジネスコミュニケーション協会 プリントを配布する。
8	課題・試験・レポート等の フィードバック	「TOEIC L&R 出る単特急 銀のフレーズ」の小テスト及び TOEIC L&R Part 5、Part 7 等における誤りの多い問題を中心に行う。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	
期末試験	50	1-1 課題発見・解決力、論理的思考 1-2 コミュニケーション・スキル 2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	30	
授業時間外 レポート	20	
平常点		

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. TOEIC の Listening において、短い英文を聞き取り、適切な返答できる。	英文の内容をほぼ正確に聞き取り、質問の意図を理解し、9割以上正解できる。	英文の内容を半分以上正確に聞き取り、質問に対して7割程度正解できる。	英文の内容を半分程度正確に聞き取り、質問に対して5割程度正解できる。	英文の内容を一部聞き取り、質問に対して3割程度正解できる。	英文の内容をほとんど聞き取ることができず、質問に対してもほとんど返答できない。
2. 長めの会話文やアナウンス文の大きな内容を聞き取り、適切な返答できる。	会話文やアナウンス文の内容をほぼ正確に聞き取り、質問の意図を理解し、9割以上正解できる。	会話文やアナウンス文の内容を半分以上正確に聞き取り、質問に対して7割程度正解できる。	会話文やアナウンス文の内容を半分程度正確に聞き取り、質問に対して5割程度正解できる。	会話文やアナウンス文の内容を一部聞き取り、質問に対して3割程度正解できる。	会話文やアナウンス文の内容をほとんど聞き取ることができず、質問に対してもほとんど返答できない。
3. TOEIC の Reading において、文法・語彙を理解し、適切な語句を選択できる。	文法や語彙を理解し、空所に適切な語句を入れることができ、9割以上正解できる。	文法や語彙をほぼ理解し、空所に適切な語句を入れることができ、7割以上正解できる。	文法や語彙を半分程度は理解し、空所に適切な語句を入れることができ、5割以上正解できる。	文法や語彙を少しは理解し、空所に適切な語句を入れることができ、3割程度正解できる。	文法や語彙を理解できず、空所に適切な語句を入れることができない。
4. 長めの文書の中の具体的な情報を推測し、質問に答えることができる。	長めの文書を時間内に全て速読し、7割以上正解できる。	長めの文書を時間内に半分以上読み、5割以上正解できる。	長めの文書を時間内に半分程度読み、3割以上正解できる。	長めの文書を時間内に少しでも読みこなし、3割程度正解できる。	長めの文書を時間内にほとんど読むことができない。
5. 科学系の小論文でよく使われる構文や語彙が分かり、内容を把握することができる。また、設問に9割以上正解できる。	使われている構文・語彙が分かり、内容を把握することができる。また、設問に9割以上正解できる。	使われている構文・語彙がほぼ分かり、内容を把握することができる。また、設問に7割以上正解できる。	使われている構文・語彙が分かり、内容を把握することができる。また、設問に5割以上正解できる。	使われている構文・語彙が少しは分かり、内容を把握することができる。また、設問に3割以上正解できる。	使われている構文・語彙が全く分からず、内容を把握することができない。また、設問にもほとんど解答することができない。
6. 4 年制大学編入試験の過去問に解答することができる。	文法・語法問題だけでなく、長文読解問題でも9割以上正解できる。	文法・語法問題は7割程度正解し、長文読解問題でも半分程度は正解できる。	文法・語法問題は半分程度正解し、長文読解問題でも3割程度は正解できる。	長文読解問題は解答できないが、文法・語法問題は半分程度正解できる。	文法・語法問題も、長文読解問題もほとんど解答することができない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN105
1	科目名 英語科目名	保健体育 I Sports Activities and Health I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年前期 澤田 浩*
3	授業テーマ・内容	(体育実技) 体力・健康づくりのための運動を幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質を養い、心身ともに健康な生活を営むための習慣と態度を習得する。 (保健) 社会生活を営む上での基本的な条件である健康の認識を高め、一般社会人としての保健・体育に関する深い理解と高い見識を養うことを目的とする。又、安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動ができるような知識を習得する。
4	学習成果	(体育実技) 社会生活に於いて体育・スポーツの必要性を理解し、実践できる体力を養い、各種目の基礎を習得することができる。 (保健) 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取り組みが必要であることが分かり、正しい救急法の知識を身に付けることができる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予)シラバスをよく読んでおく。(0.5時間) 復)授業の進め方、考え方を理解しておくこと。(0.5時間)
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予)柔軟体操を行って置く。(0.5時間) 復)体調を整えておくこと。(0.5時間)
第3週	バドミントン	サーブの練習 簡易ゲーム	予)ルールを調べる。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第4週	〃	スマッシュの練習 ゲーム	予)ルールを調べる。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第5週	〃	ドロップショットの練習 ゲーム	予)ルールを調べる。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第6週	実技テスト	ゲーム	予)技術のポイントを確認しておくこと。(0.5時間) 復)技術のポイントを理解すること。(0.5時間)
第7週	バスケットボール	パスの練習 簡易ゲーム	予)ルールを調べる。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第8週	〃	ドリブルの練習 ゲーム	予)ルールを調べる。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第9週	〃	シュートの練習 ゲーム	予)ルールを調べる。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第10週	〃	セットプレーの練習 ゲーム	予)ルールを調べる。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第11週	実技テスト	実技テスト ゲーム	予)技術のポイントを確認しておくこと。(0.5時間) 復)技術のポイントを理解すること。(0.5時間)
第12週	保健体育	概論 健康のとらえ方	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)
第13週	安全な社会	交通安全	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)
第14週	〃	自然災害	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)
第15週	応急手当	日常的な応急手当	予)プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復)よく理解しておくこと。(0.5時間)
第16週	期末試験		

シラバス基本情報

6	備考	中学校、大学で保健体育、スポーツの指導経験のある教員による科目
7	テキスト・参考書	テキスト:プリント教材使用 ワークシート配布
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	第1週から第15週までのレポートは、期末試験時に返却する。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	
期末試験	30	2-1 チームワーク、自己管理能力 2-3 市民としての社会的責任 2-4 生涯学修力
筆記試験 レポート試験		
授業時間内 試験・演習	30	
授業時間外 レポート	40	
平常点		

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
体育実技 バドミントン	バドミントンのサービスやスマッシュなどより高い技能を発揮し、相手を動かしながら空いた場所を巡る攻防をし、スマッシュやドロップショットで得点を行うことができる。また、技能が身につかない仲間を支えることができる。	バドミントンのサービスやスマッシュなどの技能を身につけ、相手を動かしながら空いた場所を巡る攻防をし、スマッシュやドロップショットで得点を行うことができる。	バドミントンのサービスやスマッシュなどの技能を身につけ、相手を動かしながら空いた場所を巡る攻防をすることができる。	バドミントンのサービスやスマッシュなどの技能を身につけ、相手を動かそうとしながら空いた場所を巡る攻防をすることができる。	バドミントンのサービスやスマッシュなどの技能が身につかない。また、シャトルを返球することができない。
体育実技 バスケットボール	仲間と協力して、バスケットボールのシュート、パス、ドリブルなどのより高い技能を発揮し、リングにむけて守備者をかわしてシュートできたり、スペースを作り出す動きができたり、シュートできる位置にいる味方に対してパスを出すことができる。	仲間と協力して、バスケットボールのシュート、パス、ドリブルなどの技能を身につけ、リングにむけて守備者をかわしてシュートできたり、スペースを作り出す動きができたり、シュートできる位置にいる味方に対してパスを出すことができる。	仲間と協力して、バスケットボールのシュート、パス、ドリブルなどの技能を身につけ、リングにむけて守備者をかわしてシュートでき、シュートできる位置にいる味方に対してパスを出すことができる。	仲間と協力して、バスケットボールのシュート、パス、ドリブルなどの技能を身につけ、リングにむけてシュートでき、シュートできる位置にいる味方に対してパスを出すことができる。	バスケットボールのシュート、パス、ドリブルなどの技能が身につかない。また、ノーマークでもシュートできず、ボールとリングの間に立って守備をすることができない。
保健	安全な社会づくりについて、学習したことを基に、自分たちの生活や行動と関連付けたり、理由をつけたりしながら、現代の社会情勢にあった具体的な課題や対策について説明できる。	安全な社会づくりについて、学習したことを基に、自分たちの生活や行動と関連付けたり、理由をつけたりしながら、具体的な課題や対策について説明できる。	安全な社会づくりについて、学習したことを基に、理由をつけて、具体的な課題や対策について説明できる。	安全な社会づくりについて、学習したことを基に、具体的な課題や対策について説明できる。	安全な社会づくりについて、具体的な課題や対策について説明できない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN205
1	科目名 英語科目名	保健体育Ⅱ Sports Activities and Health Ⅱ
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年後期 澤田 浩*、森 祐貴*
3	授業テーマ・内容	(体育実技) 体力・健康づくりのための運動を幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質を養い、心身ともに健康な生活を営むための習慣と態度を習得する。 (体育理論) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動ができるような知識を習得する。また、生涯スポーツについての知識も習得する。
4	学習成果	(体育実技) 社会生活に於いて体育・スポーツの必要性を理解し、実践できる体力を養い、各種目の基礎を習得することができる。 (体育理論) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展や課題について正しい知識を習得し、生涯スポーツのあり方、及びとらえ方を学習し、自分のスポーツライフを設計できる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予) 柔軟体操を行っておく。(0.5時間) 復) 体調を整えておくこと。(0.5時間)
第3週	サッカー	パス・シュートの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第4週	〃	ドリブルの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第5週	〃	セットプレーの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第6週	〃	チームプレーの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第7週	実技テスト	実技テスト ゲーム	予) 技術のポイントを確認しておくこと。(0.5時間) 復) 技術のポイントを理解すること。(0.5時間)
第8週	バレーボール	パス・サーブの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第9週	〃	スパイク・トスの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第10週	〃	チームプレーの練習 ゲーム	予) ルールを調べること。(0.5時間) 復) ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第11週	実技テスト	実技テスト ゲーム	予) 技術のポイントを確認しておくこと。(0.5時間) 復) 技術のポイントを理解すること。(0.5時間)
第12週	体育理論	人間にとって動くとは何か	予) プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復) よく理解しておくこと。(0.5時間)
第13週	現代社会と健康	ストレスへの対処	予) プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復) よく理解しておくこと。(0.5時間)
第14週	運動スポーツの学び方	運動やスポーツでの安全確保・体力トレーニング	予) プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復) よく理解しておくこと。(0.5時間)
第15週	生涯スポーツの考え方	ライフステージに応じたスポーツ	予) プリントを熟読しておくこと。(0.5時間) 復) よく理解しておくこと。(0.5時間)
第16週	期末考査		

シラバス基本情報

6	備考	中学校、大学で保健体育、スポーツの指導経験のある教員による科目
7	テキスト・参考書	テキスト:プリント教材使用 ワークシート配布
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	第1週から第15週までのレポートは、期末試験時に返却する。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	
期末試験	30	2-1 チームワーク、自己管理能力 2-3 市民としての社会的責任 2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	30	
授業時間外 レポート	40	
平常点		

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
体育実技 サッカー	仲間と協力して、サッカーのパス、ドリブル、トラップなどのより高い技能を発揮し、ゴール方向に守備者がいない位置でシュートできたり、スペースを見つけて走りこんだり、味方を生かすパスを出すことができる。	仲間と協力してサッカーのパス、ドリブル、トラップなどの技能を身につけ、ゴール方向に守備者がいない位置でシュートできたり、スペースを見つけて走りこんだり、味方を生かすパスを出すことができる。	仲間と協力して、サッカーのパス、ドリブル、トラップなどの技能を身につけ、ゴール方向に守備者がいない位置でシュートできたり、スペースを見つけて走りこんだり、味方を生かすパスを出そうとすることができる。	仲間と協力して、サッカーのパス、ドリブル、トラップなどの技能を身につけ、ゴール方向に守備者がいない位置ではシュートし、味方にパスを出すことができる。	サッカーのパス、ドリブル、トラップなどの技能が身につかない。また、ボールとゴールの間に立って守備をすることができない。
体育実技 バレーボール	バレーボールのスパイク、サービス、レシーブ、トスなどのより高い技能を発揮し、仲間と協力し、仲間の持っている能力を生かしながら、チームとして三段攻撃につながる指示を出すことができる。	バレーボールのスパイク、サービス、レシーブ、トスなどの技能を身につけ、仲間と協力し、自分が持っている力を十分に発揮して三段攻撃につながる役割を果たすことができる。	バレーボールのスパイク、サービス、レシーブ、トスなどの技能を身につけ、仲間と協力し、自分が持っている力を十分に発揮して三段攻撃につながる役割を果たそうとすることができる。	バレーボールのスパイク、サービス、レシーブ、トスなどの技能を身につけ、仲間と協力し、自分が持っている力を発揮して三段攻撃につながる役割を果たそうとすることができる。	バレーボールのスパイク、サービス、レシーブ、トスなどの技能が身につかない。また、仲間と協力し、自分が持っている力を発揮して三段攻撃につながる役割を果たそうとしない。
体育理論	スポーツについて、学習したことを基に自分の経験や現代の社会情勢と結び付けて理解することができ、自分自身より良いスポーツライフを具体的に設計することができる。	スポーツについて、学習したことを基に自分の経験と結び付けて理解することができ、自分自身より良いスポーツライフを設計することができる。	スポーツについて、学習したことを基に理解することができ、自分自身より良いスポーツライフを設計することができる。	スポーツについて学習したことを基に、自分自身のより良いスポーツライフを設計することができる。	スポーツについて学習したことを基に、自分自身より良いスポーツライフを設計することができない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEI-GEN117
1	科目名 英語科目名	データサイエンス入門 Introduction to Data Science
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 1年前期 小池 稔
3	授業テーマ・内容	近年、「AI」「クラウド」「ビッグデータ」などの情報通信技術 (ICT) の進展により、膨大な量のデータが交換され、インターネットを使うことで誰でも簡単に多量のデータを入手できる。より良い製品開発をするためには、多量のデータを適切な方法で抽出し、処理して客観的に分析し、適切な方法で表現し、他者に伝えることがより重要となってきた。 本授業では、データの取得法・分析法・表現法について取り扱う。
4	学習成果	1. データ解析が4つの工程から構成されていることを説明できる。 2. データの作成過程が5つの段階から構成されていることを説明できる。 3. 情報倫理の4つの原則とデータの倫理の規範例について説明できる。
5	履修条件	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	データサイエンスとは	予) 本科目のシラバスを通読 (1時間) 復) 本科目の目標の把握 (2時間)
第2週	Excel による統計量の計算	Excel による平均や標準偏差などの基本統計量の計算法	予) セルの参照法/関数の利用法など (1時間) 復) 授業内容の整理 (2時間)
第3週	データと社会	データ解析の4つの工程	予) 日常生活の中にあるデータとは? (1時間) 復) データ解析の4つの工程の復習 (2時間)
第4週	度数分布表、ヒストグラム	度数分布表/ヒストグラム/累積相対度数グラフ	予) 度数分布表やヒストグラムの確認 (2時間) 復) 授業内容の整理 (2時間)
第5週	データを知る	データのタイプ, 特徴	予) データ解析の第1工程とは? (1時間) 復) データのタイプ, 特徴の復習 (2時間)
第6週	記述統計学の基礎 (1)	平均、標準偏差などの統計量に関する計算法	予) 平均、分散などの計算法の確認 (2時間) 復) 授業内容の整理 (2時間)
第7週	データを読む	データの集計, 可視化	予) データ解析の第2工程とは? (1時間) 復) データの集計, 可視化の復習 (2時間)
第8週	記述統計学の基礎 (2)	共分散、相関係数などの2変数統計量の計算法	予) 2変数統計量の計算法の確認 (2時間) 復) 授業内容の整理 (2時間)
第9週	データを分類する	クラスター分析, 主成分分析	予) データ解析の第3工程とは? (1時間) 復) クラスター分析の復習 (2時間)
第10週	確率と正規分布	確率分布/正規分布	予) 確率や正規分布の確認 (2時間) 復) 授業内容の整理 (2時間)
第11週	データを予測する	回帰分析, 重回帰分析	予) データ解析の第4工程とは? (1時間) 復) 回帰分析の復習 (2時間)
第12週	推定と検定	区間推定/平均の検定	予) 標準正規分布について確認 (2時間) 復) 授業内容の整理 (2時間)
第13週	データの倫理	情報倫理の4つの原則とデータ倫理の規範例	予) 倫理とは? (1時間) 復) 授業内容の整理 (2時間)
第14週	総合演習 (1)	既習事項に関する演習	予) 既習事項の整理 (2時間) 復) 期末試験対策 (4時間)
第15週	期末試験		予) 期末試験対策 (5時間) 復) 期末試験に対する反省 (1時間)
第16週	総合演習 (2)	期末試験の略解の解説	予) 期末試験の正解答の作成 (2時間) 復) 期末試験の正解答の清書・提出 (2時間)

シラバス基本情報

6	備考	授業資料等の配布や毎回実施する授業のアンケートには、Microsoft Teams などを用いた e-Learning を展開する予定である。Excel を用いた四則演算・Excel 関数・セルの参照など Excel の基本操作を理解している方が好ましい。
7	テキスト・参考書	テキスト：絵と図でわかるシリーズ・絵と図でわかるデータサイエンス—難しい数式なしに考え方の基礎が学べる 上藤一郎著 技術評論社 参考書：ファーストブックシリーズ・統計学がわかる 向後千春・富永敦子著 技術評論社、工科の数学・確率・統計（第2版） 田代嘉宏著 森北出版
8	課題・試験・レポート等のフィードバック	課題などで間違いが多い内容があれば、可能な限り授業内で解説する。 第16週に期末試験の振り返りを行う。

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	1-1 課題発見・解決力、論理的思考
期末試験	40	2-2 倫理観
筆記試験 レポート試験		2-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	20	
授業時間外 レポート	30	
平常点	10	

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
1. データ解析が4つの工程から構成されていることを説明できる。	評価尺度3に加えて、1つ以上の工程について数式を使って説明ができる。	評価尺度1に加えて、全ての工程について大まかに説明ができる。	評価尺度1に加えて、2つの工程について大まかに説明ができる。	データ解析の4つの工程の名称を把握している。	データ解析の4つの工程の名称を把握できていない。
2. データの作成過程が5つの段階から構成されていることを説明できる。	評価尺度3に加えて、Webから取得した集計データの問題点について説明ができる。	評価尺度1に加えて、全ての段階について大まかに説明ができる。	評価尺度1に加えて、2つの段階について大まかに説明ができる。	データの作成過程の5つの段階の名称を把握している。	データの作成過程の5つの段階の名称を把握できていない。
3. 情報倫理の4つの原則とデータの倫理の規範例について説明できる。	評価尺度3に加えて、分析の倫理について説明ができる。	評価尺度1に加えて、全ての原則について大まかに説明ができる。	評価尺度1に加えて、2つの原則について大まかに説明ができる。	情報倫理の4つの原則の名称を把握している。	情報倫理の4つの原則の名称を把握できていない。